



TAXI

The current situation
and initiatives

第一交通産業グループの取り組み

～地域交通の現状と持続可能性への取り組み～

第一交通産業株式会社 田中 亮一郎

タクシー業界について

ABOUT TAXI INDUSTRY

TAXI



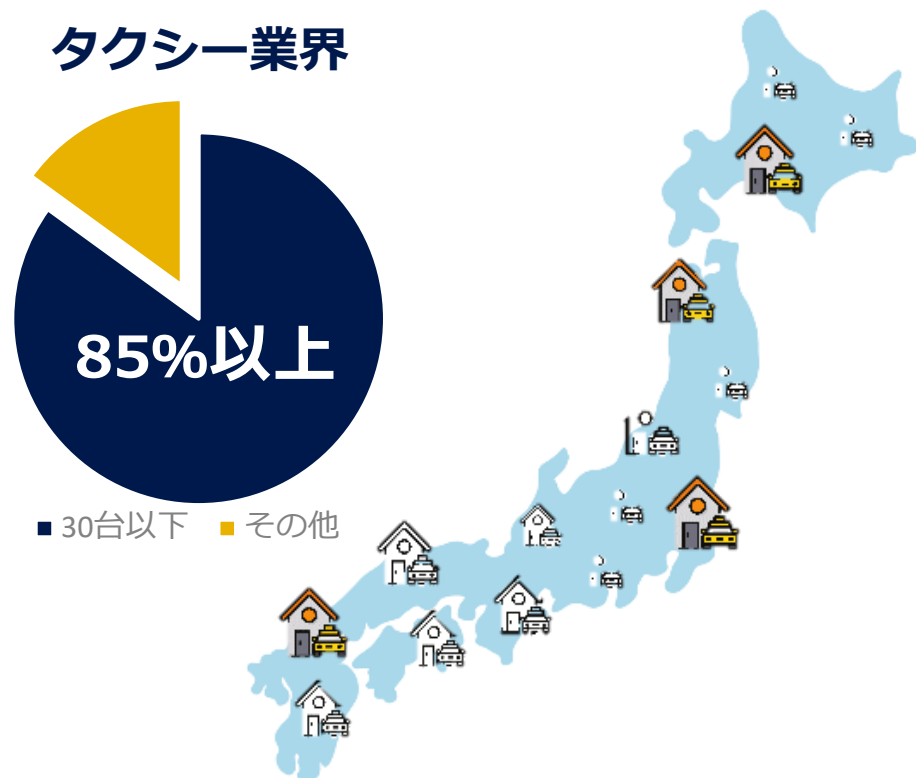
タクシー業界について



法人タクシー事業者のほとんどが**中小零細企業**です。

30台以下のタクシー会社を集めると、業界シェア（台数）**85%以上**となる。

タクシー業界は、家業の集まりが地域の移動を守っている。



タクシー業界

車両台数	約20万台
会社数	約5,500社
営業区域	約630カ所

第一交通産業グループ[°]

車両台数	約8,200台（業界1位）
業界シェア（台数）	約4%

乗合タクシー

SHARED TAXI



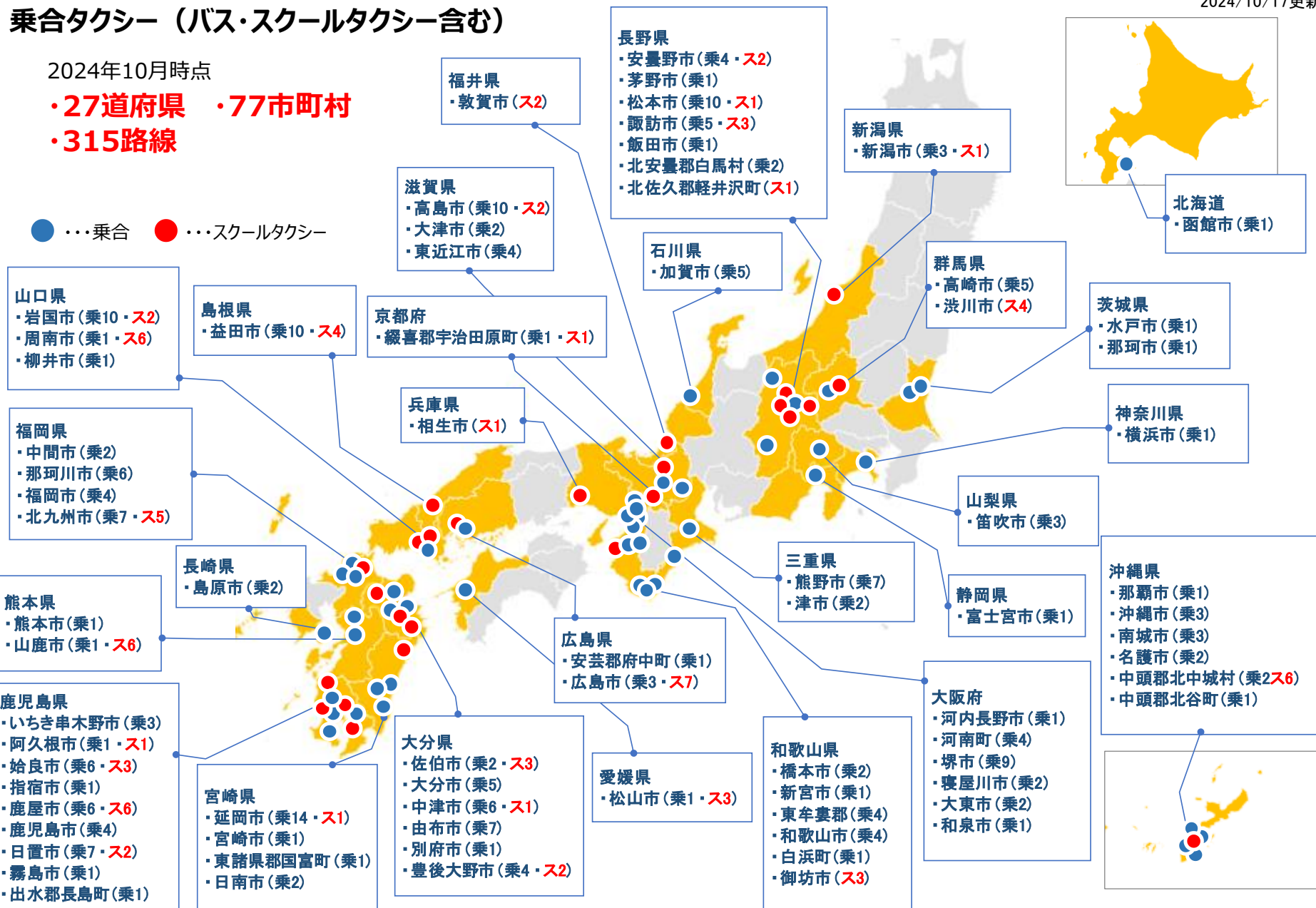
乗合タクシー

乗合タクシー（バス・スクールタクシー含む）

2024年10月時点

・27道府県 ・77市町村
・315路線

●・・・乗合 ●・・・スクールタクシー



●乗合タクシーは、ワゴン型や一般のタクシー車両を使った乗合型の公共交通です。

●過疎化・高齢化が急速に進行する中で地域住民の生活交通を維持するため、乗合タクシーの運行に積極的に取り組んでおります。主に、バスが運行できない過疎地域等において運行しております。

乗合タクシー輸送人員

35万人/年

一般タクシー輸送人員

4,113万人/年

(第一交通産業グループ
2023年度実績)

乗合タクシー

北九州市（福岡県）：地域で支える公共交通「おでかけ交通」

◆枝光やまさか乗合タクシー

山坂の多い都市内交通不便地域における乗合タクシーの導入

人口	約92万人	モード	乗合タクシー
面積	488km ²	法令	道路運送法第4条
人口密度	1,888人/km ²	利用実績	約120人/日



加賀市（石川県）：AIデマンド交通「加賀市のりあいタクシー」

◆のりあい号

乗合バスを維持することが困難となったエリアにて乗合タクシーを運行する

人口	約6.3万人
利用実績	年間15,818人 約43人/日 2023年度実績



地域の足不足の解消に係る事例

ニセコモデル

- ニセコエリア限定で、タクシーの営業区域外旅客運送と遠隔点呼の仕組みを活用し、札幌・東京のタクシー事業者から合計8社・車両11台・タクシー乗務員25名の応援隊派遣を行い、ニセコエリア内の発着となるタクシーアプリからの注文のみで営業を実施した。



【派遣乗務員】

2名

【売上高】

約70万円/月/人

約2.9万円/日

【配車回数】

約11.6回/日/車

2024年1月実績

白馬

- 新潟のグループ会社より4名の乗務員を派遣し、冬場の顧客の増加に対応。白馬村観光課調査の「観光客入込状況」によると、今年1月から2月に白馬村を訪れた観光客数85万5360人と、前年比27%増と沸いている。当社タクシーがその移動手段として大きく貢献した。

【派遣乗務員】

4名

【売上高】

約160万円/月/人

2024年1~2月実績



No.1タクシーネットワーク

NO1-TAXI NETWORK

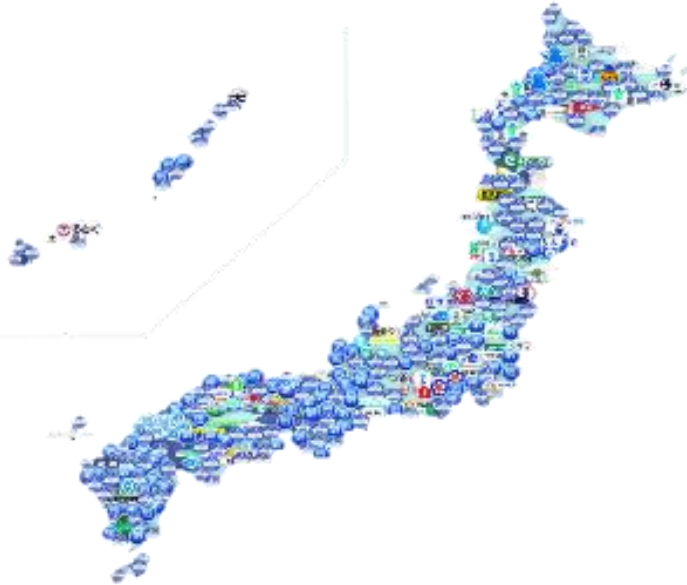


No1タクシーネットワークとは



地域の移動を守る共創ネットワーク

第一



第一交通グループ
約8,200台

タクシー提携会社
約32,000台

約4万台

タクシー会社同士の相互協力を目的とし、営業・サービスの連携や、スケールメリットを活かした資材調達（価格交渉・条件交渉）を行う加盟料無料のネットワーク（入会料・年会費・成功報酬など一切なし）



取組み内容紹介



法人向け全国タクシー予約センター

感謝の集い開催



お墓参りサポート



資材調達



人員募集



WAY™

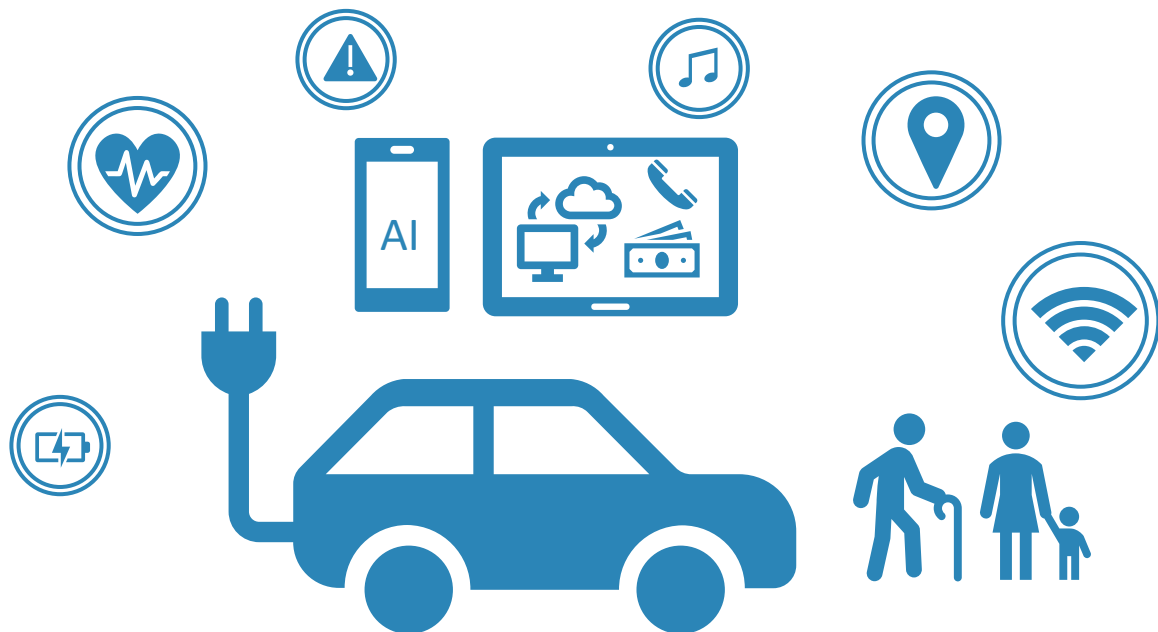
賛助会員企業



他約30社

今後のタクシー

FUTURE OF THE TAXI INDUSTRY



今後のタクシー



相乗り

NearMe等

ラストワンマイル

チョイソコ等



自動運転

NEC、TIER IV等



日本版ライドシェア

MaaS

九州MaaS
沖縄スマートシフトプロジェクト等



インバウンド

Ctrip、KLOOK等

災害時・緊急時対応

北九州市避難行動 要支援者避難支援
北九州空港ダイバード受入・二次交通

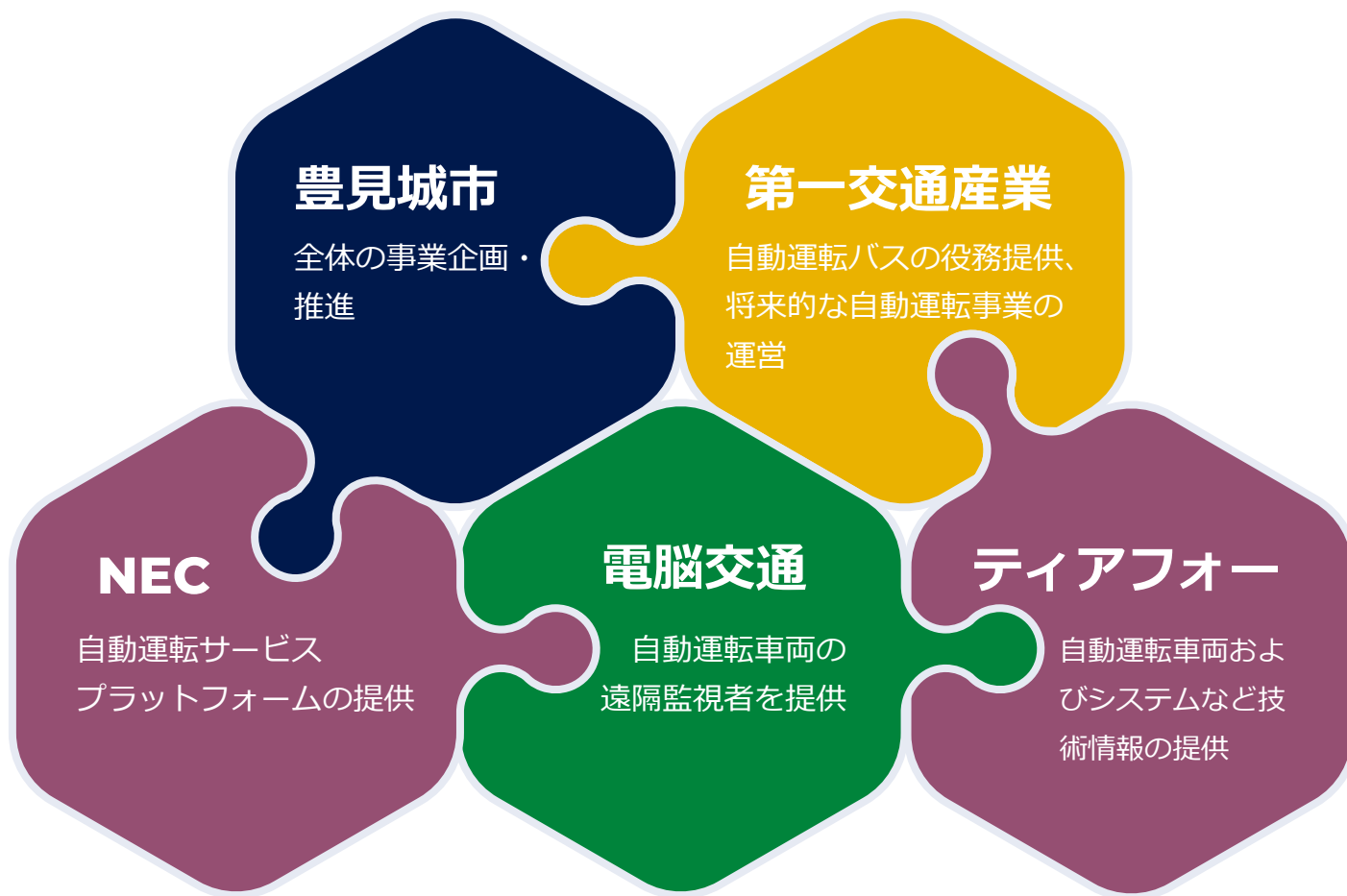


DXの取り組み 自動運転

AUTONOMOUS DRIVING



自動運転（豊見城市実証）



沖縄県初！！ 生活路線のEV自動運転バス実証実験

- 運行形態：定時定路線 運賃：無料
- ルート：第一交通産業グループ会社琉球バス交通が運行している生活路線105番豊見城市内一周線の一部 約11.7km
- 運行期間：10月8日（火）～11月1日（金）
- 体験ルートの試乗会：
10月7日（月）出発式
10月19日（土）・20日（日）産業フェスタ
- 乗車人数：1,787名
（満席でお断り：21名）
- 自治体、大学、一般企業等の視察約70名

自動運転



期待すること

WHAT TO EXPECT



期待すること

官民連携による公共交通空白地域の解消

異業種連携

自動車メーカーやIT・DX産業には自動運転での連携を求める



インフラ整備

国や県には駅や空港、港などの移動結節点等で高齢者や身体障害者のためのユニバーサルデザイン対応のインフラ整備



産学官民連携推進

大学や研究機関へは、左記の内容を推進するための公共交通プラットフォームプロデューサーを育成・専任するよう呼びかける



交通事業者間のMaaS連携

MaaS対応時に交通事業者（電車、バス、タクシー等）間の連携を呼びかける



情報共有

基礎自治体間の公共交通維持対策等の情報を交通事業者への共有